

**食品に関するリスクコミュニケーション～食中毒予防対策などを中心とした食品安全への取り組みについて～**  
**(平成19年7月13日開催：敦賀市)**  
**アンケート集計結果**

参加人数 47名  
 アンケート回答者数 30名 回答率 63.8%

Q1 ご自身について、ご回答ください。		
<b>1 性別</b>		
1 男性	21	( 70.0%)
2 女性	7	( 23.3%)
<b>2 年齢</b>		
1 ～19歳	0	( 0.0%)
2 20歳代	2	( 6.7%)
3 30歳代	8	( 26.7%)
4 40歳代	4	( 13.3%)
5 50歳代	8	( 26.7%)
6 60歳代	4	( 13.3%)
7 70歳～	2	( 6.7%)
<b>3 ご所属</b>		
1 消費者(団体を含む)	5	( 16.7%)
2 生産者	1	( 3.3%)
3 製造・加工業	3	( 10.0%)
4 流通・販売業	3	( 10.0%)
5 報道関係者	0	( 0.0%)
6 行政関係(独法含む)	8	( 26.7%)
7 その他	9	( 30.0%)
<b>4 本日参加された目的</b>		
1 食品の安全性の問題に関心があるため	18	( 60.0%)
2 国における食品安全確保に関する取組を知るため	15	( 50.0%)
3 食中毒予防対策について知るため	17	( 56.7%)
4 パネリストや参加者の意見を聴くため	8	( 26.7%)
5 意見・要望を述べるため	0	( 0.0%)
6 その他	0	( 0.0%)

Q2 本日のリスクコミュニケーションの実施について、何でお知りになりましたか。		
1 新聞	0	( 0.0%)
2 ラジオ	0	( 0.0%)
3 雑誌、情報誌、自治体広報紙等	1	( 3.3%)
4 ポスター又はちらし	0	( 0.0%)
5 ホームページ	7	( 23.3%)
6 所属団体からの連絡	20	( 66.7%)
7 その他	4	( 13.3%)

Q3 演者からの説明についてお伺いします。説明内容について、十分に理解することができましたか		
1 できた	11	( 36.7%)
2 おおむねできた	17	( 56.7%)
3 あまりできなかった	1	( 3.3%)
4 できなかった	0	( 0.0%)
<b>SQ1 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)</b>		
1 用語など内容が理解しにくい。	1	
2 説明資料が見にくい。	0	
3 説明が聞き取りにくい。	1	
4 自分が理解していることとは異なる説明である。	1	
5 その他	0	

Q4 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換での議論の内容等について理解できましたか？		
1 できた	13	( 43.3%)
2 おおむねできた	10	( 33.3%)
3 あまりできなかった	1	( 3.3%)
4 できなかった	0	( 0.0%)
<b>SQ1 十分に理解することができなかった理由は何ですか(当てはまるものを全て)</b>		
1 用語など発言の内容が理解しにくい。	0	
2 発言が聞き取りにくい。	0	
3 その他	4	

Q5 以下の設問について、〔意見交換会に参加する前〕、〔意見交換会に参加して〕で当てはまるものを1つずつ選んでください

1. 食中毒予防に関する国や自治体の取組について

〔意見交換会に参加する前〕

1 知っていた	12	( 40.0%)
2 少し知っていた	11	( 36.7%)
3 知らなかった	2	( 6.7%)

〔意見交換会に参加して〕

1 理解が深まった	22	( 73.3%)
2 変化なし	3	( 10.0%)
3 わからなくなった	0	( 0.0%)

2. 食中毒の原因（原因となりやすい食品等）及びその予防方法について

〔意見交換会に参加する前〕

1 知っていた	12	( 40.0%)
2 少し知っていた	13	( 43.3%)
3 知らなかった	1	( 3.3%)

〔意見交換会に参加して〕

1 理解が深まった	20	( 66.7%)
2 変化なし	4	( 13.3%)
3 わからなくなった	0	( 0.0%)

3. 日常業務や日々の食生活に今回の内容を活用できると思いますか

〔意見交換会に参加する前〕

1 とても思う	13	( 43.3%)
2 まあまあ思う	11	( 36.7%)
3 あまり思わない	1	( 3.3%)
4 ほとんど思わない	0	( 0.0%)

Q6 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換において、自分とは異なる見解の発言はありましたか？

1 あった	9	( 30.0%)
2 なかった	12	( 40.0%)

SQ1 異なる見解の発言の趣旨は理解することができましたか。

1 できた	4	
2 おおむねできた	5	
3 あまりできなかった	0	
4 できなかった	1	

SQ2 発言の趣旨が十分に理解することができなかった理由は何ですか。

1 そのような見解に立つことが信じられない。	0
2 そのような見解に立つ理由が述べられていなかった。	1
3 その他	0

Q7 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。

1)良かったと思う点

説明がわかりやすかった(品川先生他)。  
 パネリストの説明は全般的にわかりやすかった。  
 実務者のお話が聞けたのは、大変勉強になった。「5S」の話はその通りだと思う。  
 最初のプレゼンは、もう少し短くても良いと思う。パネルディスカッションが大変になり勉強になった。  
 新しい知識が増えた。  
 ノロウイルスについて、品川先生の説明が分かりやすかった。  
 知らない話も聞け勉強になった。  
 定刻通りに開始され、以後整然と進められた点。  
 品川先生のプレゼンが良かった。

2)改善すべきと思う点

それぞれの説明について、時間内にポイントを説明するべき。時間超過ありきの話では、誰も(特に一般の方)ついてこないと思う。  
 もっと一般消費者を対象にしたリスクもやるべき。  
 今回の場が、一般向け(消費者向け)なのか、事業者向けなのか、もう少し明確にすべきだと思う。一般向けならば、平日では人が集まらないし、会の実施についてのアピールが少なすぎる。かなり関心のある人しか集まらないのはそこにも責任があるように感じる。一般向けであれば、食の安全・安心と広くテーマを限定して開催した方がいいのかな(食中毒と限定せずに)。あえて興味のありそうなこと(BSE他)をテーマに含めておくことも、人を集めるには必要だろう。  
 消費者の理解を深めるためのリスクコミュニケーションとしては、参加者(特に消費者)が少なすぎる。広報されていないのでは？  
 食中毒予防において、具体的な対策の説明が欲しい。一般論は不要。又ポジティブ制度において、現状の問題等の説明がほしい。  
 もっと具体的な対応策を盛り込んで欲しかったです。農業、添加物のお話も聞きたかったです。  
 間延びする点。  
 時間が長くなった。中林参事官一最初の取り組みの話が長かった。  
 参加者の数が余りに少なかった！

Q8 その他、今回のリスクコミュニケーションについて、お気づきの点がありましたら記入願います。

国のパネリストの発言が非常に少ないのではないかと。  
 知識のない消費者として参加しました。日頃口にしている食物にもリスクのあることを知り、とても参考になりました。パネルディスカッションでも指摘がありましたが、無関心層、一般消費者へのアピールをどうしていくかが問題ですね。

「リスクコミュニケーション」と題するのであれば、食中毒に絞らず、もう少し幅広くお話が聞ければ、より良いものになると思います。風評被害は社会的にも損失であるので、マスコミの情報に対する見解を国や行政のトップの人々がしっかり述べていくことは必要と考えます。

今回、どの程度のアピールだったか分かりませんが、もっと多くの方々に聞いて頂く方が良いと思う。内容はすごく良かったです。ありがとうございました。

PLANT様がやっている中心温度の測定は、毎回サンプリングした加熱総菜に対して行うとしたら、大変手間のかかる作業だと思います(記録をつける事を含め)。どのようにその作業を徹底させているのかを教えてくださいました。

少し時間が長いように思う。夕方作業があるので、もう少し短縮を。

資料1について最初のページにごはんのメニューの絵がありますが、並べ方に問題があります。基本的にごはんは左で、みそ汁は右です。食育の関係もありますので、訂正された方が良いと思います。

参加者の市民参加が少ないように感じた。